

平成29年度経営発達支援事業に係る事業評価委員会の意見等

甲府商工会議所では、事業評価委員会を開催し、計画への起債事業の実施状況等について報告を行い、改善点を踏まえ、平成30年度以降の取り組みについて説明した。

今後事業を実施するにあたっては、事業評価委員会での指摘事項を踏まえ、より効果ある支援に取り組む。

【委員から出された意見・質問（⇒回答）は次のとおり】

●地域の経済動向調査に関すること

・反省点として「一部の職員の対応に留まった」とあるが、調査結果は全職員で共有していないのか。（委員）

⇒内部を回覧するとともに、マスコミ等を通じて広く公表し、また、HPにも掲載しているので、いつでも閲覧できる状態になっている。（事務局）

・調査の回収率はどのくらいか。（委員）

⇒概ね30%程度だが、事業承継調査は8%程度。回収後の支援先発掘も兼ねた調査のため記名式としたことも、回収率が低い原因と考えている。（事務局）

●経営状況の分析に関すること

・案件発掘のための巡回訪問とあるが、その際には商工会議所が行っている事業を広く紹介し、多くの事業も周知した方が良い。商工会議所の事業を知ってもらうことが、小規模事業者支援の第一歩になる。（委員）

・事業承継が重要なテーマとなっている。企業からは相談しづらいテーマであることを考えると、こちらから働きかける支援の第一ステップとして、後継者の状況の確認を主目的とする巡回があってもいいのではないか。（委員）

⇒山梨県でも事業承継ネットワークを構築し、支援に取り組むこととなっている。当所でも事業承継診断票などを活用して状況を確認し、必要に応じて具体的な支援をしていきたい。（事務局）

●需要動向調査に関すること

・土産品の需要動向調査の結果は活用されているのか。（委員）

⇒調査では、「味」「パッケージ」「価格」「購入目的」などを聞いている。実際の商品を試食した消費者の生の声をまとめているので、活用されている。また、調査と同時に、“やまなしギフトコンテスト”として、消費者による投票で商品に順位をつけ、結果を新聞紙上等で公表し、その後の販売に役立っているため、参加事業者の意欲は高い。（事務局）

●新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

・Koo-fuの状況は。（委員）

⇒当初は日本人に好まれるプラチナ950の地金を作り、それによる商品づくりから始まった。産地ブランドの認知を高めることはできたが、Pt950製品はどうしても高額になり、一般消費者への浸透は思うようにならなかった。そこで、比較的低額商品も開発し、広く産地イメージが広がるような活動にも取り組ん

でいる。(事務局)

・観光立県フォーラムは今後も継続するのか。(委員)

⇒当該フォーラムは、(一社)日本インバウンド連合会山梨支部設立に合わせて開催した。同様のフォーラムを開催する予定はないが、インバウンド観光の需要を取り組むためのセミナー等は開催する。(事務局)

●地域経済の活性化に資する取組

・フットパス参加者が目標の200人に対して54人になっている理由は。(委員)

⇒計画策定時は、平成26年度実績の160人を目安に目標を設定した。29年度は、県外にも甲府のまちや料理・酒の魅力を知ってもらうことを目的に、食事付きで1万円を超える参加費で実施した。このため、定員を絞ったことが要因と考えている。(事務局)

・まちゼミは、目標の約8倍の398名が参加している。どのような内容で実施したのか。(委員)

⇒従来商店街での事業は、商工会議所が事業主体で各商店はやらされている感が強かった。これを自らの事業と捉えてもらえるよう、打合せ会議の司会、事業の企画なども参加店が務めるようにしていった。その結果、来店客への声掛けなどし、参加者の大幅な増加となった。(事務局)

・まちゼミは、商店が自主的に取り組むことが効果的なので、今後も同様な方向で支援を継続した方が良い。(委員)

●経営指導員等の資質向上に関すること

・小規模事業者の支援では、職員のレベルをある程度のところで揃える必要がある。そのためには、専門家を交えた支援事例の研究が最も効果的。商工会議所は、どのような考えか。(委員)

⇒全国の商工会議所の中には、全ての経営指導員が中小企業診断士レベルの能力を持つことを目標としているところもあるが、当所はそこまで求めておらず、専門的なことは、専門家を活用するというスタンス。必要な能力としては、①事業者の課題を的確に把握・整理できること、②これをまとめ相談者に理解してもらうこと、③簡易な案件については解決策を提示できること、④必要に応じて最適な専門家を紹介できること、と考えている。(事務局)

・限られた人員で支援を行うには前捌きが大事なので、説明のあった考え方で良いと思う。(委員)

【事業評価委員会の開催状況】

日時 平成30年7月4日(水) 11:00~12:30

場所 甲府商工会議所2階 クラブ室

出席者 評価委員(3名、委員長:小口氏)

山梨県中小企業診断士協会 相談役 小口一策氏

山梨学院大学現代ビジネス学部学部長 今井久氏

山梨県産業労働部産業政策課 副主幹 瀧口努氏

事務局(2名)

甲府商工会議所 事務局長 越石寛

〃 中小企業相談所長 中沢幸春